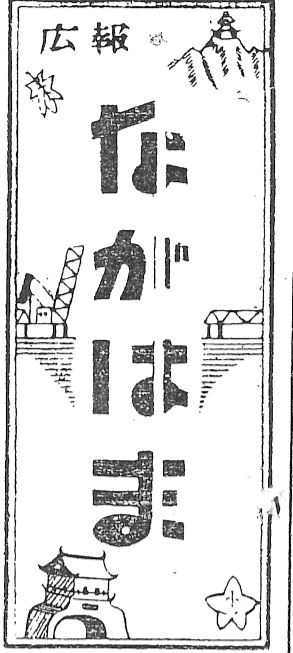


# 長浜臨海工業開発の展望

## みなさんの心配に答えて



発行所 愛媛県喜多郡 長浜町役場 印刷所 岸本印刷所

### 号外

### 開発は町民全部の

### ためのもの

長浜に一大石油コンビナートが  
できる。  
一五〇万坪の海面を埋め立てて  
石油精製、火力発電、その他石油  
を原料とした大型工場がびつり  
その敷地をうずめ、長浜町の姿は  
地図をぬりかえ、工業の町に一変  
してしまおうだろ。

### 工場誘致はきまつたのか？

話はずべて次から次へひろがり  
大きくなるとも、時としては  
とんでもない方向へまちがつて伝  
えられることがあります。  
長浜町の臨海工業開発は今までの  
ような段階にあるか、これまでの  
経過を正しく知って頂ければ、単  
なるうわさや風評で心配されるこ  
もなくなると思います。  
大型開発の問題について、これ  
までのいきさつをたどつてみまし  
よう。

### 事のおこり

年に四百人以上の人口が減つて  
いく長浜町をどのように発展させ  
るか、というところで町や議会でき  
く相談し、本町の立地条件から考  
えて、海を利用し、海に向つて近  
代産業をのびせよと以外に飛躍的  
な発展方法はないという見方から  
フェリー就航、造船ドックの建設  
工場の誘致の三つを当面の目標と  
して特別開発の構想を立て、その  
態勢をととのえたのが、昭和四十  
二年四月です。  
国でも、県や市町村でも先進地  
として栄えているのは、大量生産

### 第二の段階

さていよいよ問題の大型開発の  
考えはほぼ時を同じくして三つの  
方面から本町内に流れこんでおり  
ます。  
一つは、政府が企画庁を通じて  
発表した新全国総合開発計画の中  
でとり上げられている西瀬戸内海の臨  
海工業開発構想です。  
二つは、今後の日本の石油需要  
の増大にそなえて、それぞればら  
を迫られてくる石油業界から大型  
タンカー時代に適合する深く広く  
海と、豊富な工業用水を持つ地  
域の物色が始まりました。  
三つは、脇川の水利の利用、及  
び南予開発の拠点として、一二の  
状態とにらみ合せた県の着想が示  
されたことでもあります。  
この大きな問題が投げかけられ  
たのは、昭和四十三年四月頃のこと  
であります。

### 第三の段階

研究するにしても、まず研究す  
る価値があるかないかの判断が先  
決であります。  
今まではあまりにも海が深いの  
で、採算に合う埋立ては不可能だ  
とあきらめ切つていたこの仕事は  
しかも一〇〇万坪も一五〇万坪も  
の土地を造ることが果して可能で  
あるのか、という疑問です。  
埋立も出来ないのに、いくら研

### 第四の段階

そこで、本年度即ち四十四年度  
には、県と一体となり、徹底的に  
これを研究するの年として、町  
と議会の組織態勢を固め、それぞ  
れ各部門に分れる問題点を分担し  
て綿密に研究する作業に入った訳  
であります。  
年度当初に当る四一五一六月は  
主として、既設又は、現在建設さ  
れつつある工場地帯の視察調査を  
主体とし、現在更に各種の資料  
をあつめつつ、細かい検討を重ね  
ております。  
その部門は次の五つに分れてお  
ります。  
一、町民に及ぼす経済効果とその  
財政に及ぼす影響

### この次の段階

さて、この次に続く段階は調査  
を一段落させて、町民の皆さんに  
この大事業についての判断の材料  
となる研究の結果をお示しし、最  
後の態度を決めるための討議をす  
べき段階です。  
本年十二月末とし、町民の皆様  
に発表して検討を願う時期を昭和四  
十五年頭頃から予定してあります  
以上が現在の段階であります。

### 一人合点(独断)は危険であるという

何でも素人の早呑み込みや、デ  
マ、風評をもとにした一人合点  
物事を誤らせ危険の上もない結  
果をもたらします。  
一つの事業を行う場合にも早呑  
み込みでやれば失敗します。  
又、これに反対して仕事を  
中止する「ハメ」になつて  
は、実際には大きな効果をあげる  
ことが出来るものをみすみす取り  
逃す場合もあります。  
現代は情報の時代だといわれて  
おります。  
あらゆる情報(資料)を集め、  
これを科学的に組み立て、細かい  
計算と判断の上に仕事をのせなけ  
ればなりません。  
それは、政治は住民のものであ  
るという民主主義の本質に照らし  
て、町はこれに協力するは県であ  
るという立場になります。  
そこで実質的な推進主体となる  
県では、副知事を主としてこの  
問題に関する対策委員会を結成し  
九月県議会において四百六十一万  
円の調査費を計上し、地理や気象  
等自然条件の科学的な調査に取り  
組むことになっております。

### 今後の開発のとり進めかた

工場誘致は、今や工業国日本の  
市町村としては地域発展の根幹と  
なるものとして、あらゆる努力と  
手段を講じております。  
木材集散地として、明治、大正  
昭和初期にかけて黄金時代を築い  
た長浜町が、終戦後追々細りの衰  
退を続けているのは、近代工業へ  
の転換が不可能であったからです  
一大近代産業がぼつ興して、昔

### 決して町民の方をつんば様敷に

決して町民の方をつんば様敷に  
おいて事を進めているものではあ  
りません。  
これからもまだまだ研究調査の  
時間が必要です。  
しかもこれはお座なりの調査や  
研究ではいけません。高度の専門  
的、科学的な充分信頼に堪えるだ  
けの内容を持つた検討が必要であ  
す。そのため皆さん方にこれをくわ  
しく説明できる時期は、単に研究  
結果の発表だけでなく、必要に応  
じ専門家、学識経験者等を招いて  
皆さんに納得のゆく説明を願うこ  
ともやりたいと思つてます。  
又、各地へ出向いて、地域の多  
数の皆さんとひざつき合せて話し  
合いも行いたいと思つてます。  
その日の来るまでは、今真剣にと  
り組んでいる調査研究のため、し  
ばらくの日時を貸していただきた  
いと思つてます。  
それと同時に、決して皆さんに  
憂慮すべき災難や不幸をかけるも  
のではないことをお約束しますか  
ら、御心配にならぬよう、いまし  
ばらく静かに結果を見守つて頂  
くようお願い致します。

### 町民の皆さんへ

町民の皆さんへ  
町民の皆さんへ  
町民の皆さんへ

### 町民の皆さんへ

町民の皆さんへ  
町民の皆さんへ  
町民の皆さんへ